

令和5年度 学校評価（自己評価）

学校教育目標	キーワード	努力点	評価項目	集計結果 (%)					今年度の課題	改善策	評価者委員会の御意見			
				A	B	C	D	E						
郷土を愛し、自立した活力ある社会人の基盤づくり 【自主・尊重・協働】 知・徳・体の調和がとれ、自主的に行動し、お互いを尊重し、協働することができ、健康でたくましく、心豊かな生徒を育てる	<b>(体)</b> 元気・協働	(1) 健康教育の充実	① 健康で安全な生活態度の育成が図られているか。 ② 心の健康を重視し、不登校生徒減少への取り組みの充実が図られているか。 ③ 基本的生活習慣の確立が図られているか	35	59	0	0	6	・町学校保健委員会の取り組みをさらに活用していく。 ・新体力テストの結果や分析結果を体育科以外の教員と共有することができなかった。 ・今年度の取り組みを継続していく。	・学校での周知徹底を図る。 ・生徒の自己管理能力の育成を図る。 ・多くの教員に周知することで、新体力テストの結果を教職員で共有し、部活動の経営に活かしていく。 ・粘り強く行っていく。	・学校保健委員会で生徒が議論したことを各学級に持ち帰り、全生徒の意識づけを行なってはどうか。 ・近年自然災害が多発している中、日常の安全点検、避難訓練等で生徒、教職員の危機管理意識を高めておくことは非常に大事。気を緩めないように。 ・指導不足の原因を考えるように。 ・町民人口の減少との関係を考える時ではないか。 ・体力向上に関しては、町と協力して向上策を考えてほしい。 ・体育的な能力の育成を理論的に伝えることで体力向上への意識を高めていくことが教職員、生徒への向上につながるのでは。 ・コロナで運動量も体力も低下していたと思うが少しずつ強化できれば良いか。 ・教科体育だけでは十分ではないため、全職員で取り組めるよう部活動で取り組む際のベースとなるメニューを作成してはどうか。指導者の得手不得手に関わらず取り組めると良い。生徒に作成させても良いか。 ・教科体育の充実は運動量確保の面から良いと思う。学校全体で体力向上の核となる取り組みを検討すると良いか。			
				(2) 体力向上の推進	① 体育の授業における、個に応じた運動量は確保されていたか。 ② 新体力テストの分析と重点指導がされているか。 ③ 教科と部活動、部活動同士の連携の強化が図られているか。	41	47	0				0	12	
						24	47	18				6	6	
		24	41			24	6	6						
		(3) 安全・安心な学校づくりの推進	① 教職員の危機管理意識の日常化が図られているか。 ② 生徒の安全意識を高める日常指導が行われているか。 ③ 定期点検・日常点検の強化が図られているか。	65	24	6	6	0						
				41	47	6	0	6						
				59	35	0	0	6						
		<b>(徳)</b> 礼節・尊重	(1) 豊かな人間関係を築く指導の充実	① 組織的な生徒指導体制の確立が図られているか。 ② 生徒理解に努め、教師と生徒の心のふれあいが持てる生徒指導の実践が図られているか。 ③ 集団の一員として協力的に活動させることで、自らを律する態度や自己有用感の育成を図っているか。	53	35	0	12				0	・生徒理解に努め、教師と生徒の心のふれあいが持てる生徒指導の実践が図られている。 ・良好な人間関係を築くための学級活動・生徒会活動の活性化が図られているか。	・生活ノートひのきの活用改善。連絡帳の役割のある生活ノート「ひのき」が、適切に活用されていないクラスがあるようなので、使い方の見直しや、書き込み方の改善などを行い、担任と生徒とのコミュニケーションツールとして利用を促進させる。 ・教育相談期間に、ゆとりを持って生徒と話しあうことができるようにする。1・2年生は35人なので時間が足りなかった。また、できれば6月の教育相談は、中間テスト前が良い（来年度の学校歴では無理のようだ）。 ・学級目標づくりや行事ごとの目標設定など、学級活動を利用して、学級ごとの様々なことを決定できるようにする。昨年度は、特別活動主任から学級目標づくりの資料が出された。今後は、学級活動の取り組みについて、担任にすべて任せるとはせず、授業事例等（年度初めのエンカウンターなど）の情報共有を図る。 ②4・5月の学級活動については、学校行事もあるので忙しいと考えられるが、できるだけ担任がゆとりをもって学級活動に取り組めるように配慮した時間割にする。
					35	47	6	6				6		
	24				65	6	0	6						
	(2) 居心地の良さを感じられる学級経営		① 良好な人間関係を築くための学級活動・生徒会活動の活性化が図られているか。 ② 規範意識の高揚とルールの徹底がなされているか。 ③ 教師と生徒、生徒と生徒、教師と保護者など、様々な関係の中で、良好な人間関係の構築が図られているか。	29	65	0	0	6						
				29	59	6	0	6						
41				47	0	6	6							
(3) 道徳教育・人権教育の充実	① 全領域での道徳教育の明確化と指導の充実が図られているか。 ② あいさつ運動、生徒会活動、ボランティア活動等を通じた人権教育の充実が図られているか。 ③ 学校行事等を通じた道徳的な場の設定がなされているか。		29	59	0	0	12							
			29	53	12	0	6							
			41	53	0	0	6							

学校教育目標	キーワード	努力点	評価項目	集計結果 (%)					今年度の課題	改善策	評価者委員会の御意見				
				A	B	C	D	E							
郷土を愛し、自立した活力ある社会人の基盤づくり <b>【自主・尊重・協働】</b> <small>知・徳・体の調和がとれ、自主的に行動し、お互いを尊重し、協働することができる、健康でたくましく、心豊かな生徒を育てる</small>	<b>(知) 夢の力・自主</b>	<b>(1) 学力の向上を図る学業指導の充実</b>	① 基礎的・基本的内容の確実な定着とICT機器を活用したわかる授業の展開がなされているか。 ② 個別最適な学びを推進し、生徒が主体的に学習に取り組む授業づくりの実践が図られているか。 ③ 協働学習の日常化により、言語力の向上を図った学びに向かう集団づくりの実践が図られているか。	29	59	6	0	6	・ICTの活用やグループ活動は意識されている。 ・基礎基本の定着に課題がある。 ・総合的な学習の時間は各学年よくやっている。 ・進路学習も学年だよりで情報提供されている。 ・キャリアパスポートの活用が不十分。 ・ティームティーチングは有効に機能している。 ・個別の支援計画の活用が十分でない。 ・ICTの活用には個人差がある。	・教師が一方向的に話す授業ではなく、生徒自身が目標を設定して課題を解決していけるような授業づくりを目指す。 ・反復学習、ICT活用で高い工夫を取り入れたり週末課題の実施により、知識の定着をねらう。 ・マイチャレンジと学校のテーマ「SDGs」を関連させたように幅広い分野から探究活動を行わせる。 ・前年度の行事と比較させ、今年度のワークシートの充実を図る。 ・必ず作成するものなので計画を立てた後、活用まで意識する。特に通常学級の支援計画の活用を充実させる。 ・ICTの活用方法や事例を教職員にもっと周知する。うまく活用している生徒のやり方を共有する。	・できることを伸ばす取り組みを行うと良いか。 ・総合的な学習の時間の発表会で目標のイメージかができ、とても良くやっている。 ・町の広報誌等で新学習指導要領のめざす「学び」を実現しようと取り組む姿が見える。成果がすぐに学力テストに反映するとは限らないが先生方には頑張ってほしい。生徒は自分の言葉で意見を述べる力がついているように授業参観等で感じる。 ・生徒の人数が減少することのプラス面を考えると良いか。 ・基礎学力の定着は町や地域の人材活用も考えて対応できないものか。 ・英検や漢検、ToEICなど様々な検定を受験する機会を増やすと良いか。 ・基礎が理解できていない生徒の少人数、個別支援を充実させ、基礎学力を定着させるような指導をしてもらいたい。 ・ICTの活用については活用目的を明確にすることで(1)①と(3)③の違いを出すと良いか。指導者任せにせず校内での育成したい能力を明確にするなどしていくと良い。 ・マイチャレンジの実施の際に、受け入れ先にも総合のテーマを伝えておく効果上がるか。 ・総合発表会ではしっかりとSDGsの観点から課題にせまり生徒なりに答えを導いていた。今年度の発表会はわかりやすく工夫されていた。 ・キャリアパスポートの活用を、研修等を通して教職員で共有すると良いか。				
				(2) 自分の生き方を考える教育の充実	① SDGsの観点から迫る課題可決能力の育成が図られているか。 ② キャリアパスポートの効果的な活用がなされているか。 ③ 系統的な進路学習、総合的な学習の時間の充実が図られているか。	47	47	0				6	0		
						12	65	12				6	6		
		53	41			0	0	6							
		(3) 個に応じた指導方法の工夫・改善	① 学習形態(少人数・習熟度別)の工夫をすることで基礎学力の定着を図られているか。 ② 個別の支援計画の効果的な活用による支援や手立ての明確化が図られているか ③ ICT機器の効果的な活用による個に応じた指導の充実が図られているか	24	53	6	12	6							
				24	65	6	0	6							
				35	53	0	0	12							
		<b>郷土を愛す</b>	家庭・地域と連携・協力した学校運営の推進	① 家庭と連携した生活・学習習慣の定着が図られているか ② 地域ボランティア活動を中心とした人材活用の推進が図られているか。	24	41	29	6				0	・学校日より、学年日より、PTA活動で家庭と連携を図っている。 ・ブックトークで多くの方に協力いただいている。浴衣の着付けでも協力いただいた。	・保護者にも家庭学習を見てもらおうようお願いをしていく。 ・地域ボランティアをミシンや、琴など学校からお願いすることも検討する。	・地域で活躍する体験が地域への愛着を湧かせる。合唱部の町行事への参加が良かった。 ・総合発表会で地域に目を向けたものが増えていると感じた。地域の方々、ボランティアと連携しながら郷土愛をさらに深めてほしい。 ・価値観の多様性を考えられる指導をすると良いか。 ・小学校ではミシンボランティアによるミシンの点検、授業支援を実施している。ぜひ検討を。 ・これまで取り組んできたコミュニティー活動をさらに細分化(自治公民館活動等)、深化させていけると良いか。 ・地域コミュニティーとの共同活動を推進していくと良いか。 ・地域や職業的な技術を活かした特性を知らせる。 ・今年度はマイチャレンジも行えて地域の人と触れ合うことができ、「地元愛」に繋がった。続けてほしい。 ・町生涯学習課との積極的な連携が改善策になる。校内におけるボランティアの必要性を洗い出しておく良い。

